

「第50期の新年度を迎えて」

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私ども株式会社K-BITは2021年10月にて設立50周年を迎えました。

この記念すべき50年という節目を迎えることができましたのも、これまで様々な形で私たちを支えてくださったお客様、ご関係各位の皆様のお陰でありますこと、厚く御礼申し上げます。

当社は1972年10月に、株式会社コーユービジネス、帝人株式会社、イズミヤ株式会社3社の共同出資により、株式会社コーユービジネスインフォメーションテクニクスとして設立致しました。

コンピュータが現在のように普及する以前の時代でありましたが、コンピュータに関わる様々なニーズやビジネスが創出され、今後の社会の発展に必ずや貢献できるとの先見性に基づいてスタートを切りました。その後、2014年には親しまれていた略称を正式社名として商号変更し、株式会社K-BITとして生まれ変わり、現在に至っております。

当社はこれまでの間に多くのお客様のプロジェクトに携わりながら、日々進化するIT技術を学び、時代の先端を行くシステムを提供し、更にはお客様にとって重要なシステムの維持、メンテナンスを行ってまいりました。しかしながら、その過程は決して順風満帆であったわけではなく、バブル崩壊、リーマンショックなど、時代を揺るがす経済危機に直面しながらも、創業者である森内康雄名誉会長の理念である「変化への対応」や「顧客を大切にする」の志のもと、全社員一丸となって、幾多の苦難をも乗り越えてまいりました。現在では、受託開発業務に留まらず、アウトソーシング事業やDXサービスの開発を手掛けるなど、世の中が求める新しい価値創造にも取り組んでおります。

そして、今後も先人が築いた良き伝統を胸に刻み、既存の枠や常識にとらわれない、個々の人間力と、日々習得し続ける技術力で、引き続き社会に貢献してまいります。この50周年を新たなスタートと位置づけし、それを支える人財育成と活気ある会社づくりに会社一丸で取り組んでゆく所存ですので、皆様方におかれましては、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 K-BIT
代表取締役社長 前垣内 徹